

くみあいニュース No. 184

2023. 9. 13 発行 京都工芸繊維大学職員組合発行

<https://laborunion.xsrv.jp/kitunion>

=学長選考・公開質問状= 「ご回答」についての補足

昨日9月12日に、組合公開質問状に対する学長候補者適任者からの回答(回答しないという主旨の「ご回答」)を「くみあいニュース」第183号で報じたところ、何名かの組合員の方からお問い合わせいただきましたので、補足します。

「ご回答」の主旨について、候補者は、今回の学長選考のシステムでは、有資格者からの質問書・意見書を学長選考・観察会議が募集しているので、そちらに意見を(質問状と同じものを)投稿してほしいと説明されました。そちらに投稿された質問については回答することでした。組合としては、質問状に対する回答を、組合員のみでなく全教職員に配信することで、情報を広く公平に伝えることに務めており、このことは事前にお伝えしていました。また、公式なプロセスでは声を上げにくいと感じる個人の声を掬いあげる役割を組合が担ってきたことを説明して、何度も回答を要請いたしましたが、回答はしないという結論でした。

今回のことは、候補者本人が決定したことであり、学長選考・監察会議に対して忖度した訳でもなく、学長選考・観察会議から回答することを禁じられているとも思っていない、とのことでした。

また、これまでの学長選考では、組合から毎回候補者に同様の質問状をお送りし、回答をいただいているということを組合から伝えました。今回、質問項目への回答を拒否したことで組合に与える影響の甚大さについて承知しているのかを尋ねたところ、「それについては申し訳ない」とのことでしたので、この前代未聞の状況について、十分理解されているものと思われました。

組合執行部としては、組合の位置づけやこれまでの経緯から、回答いただけないという状況を予想しておらず、十分な説明を要求できなかったこととお詫びいたします。今後、回答が得られるまで粘り強く交渉を続けます。なお、参考のため、2017年度におこなわれた学長選考時の質問に対する候補者からの回答を併せてお送りします(組合ニュース第135号の3頁目以降に、候補者からの回答が掲載されています)。

※「くみあいニュース」第183号について訂正がございます。12日(火)に執行委員長より候補者へ再度依頼すると報じましたが、本日13日(水)に執行委員一同より再度要求しました。時間がかかってしまいましたこととお詫びいたします。

以下に、公開質問状の質問項目を再掲します。

1. 組織の上に立つ者には、経営手腕もちろんながら、倫理面においても範となるような高潔性が求められると思われま。貴殿は、学長にふさわしい資質とはどのようなものだとお考えですか。
2. 貴殿の所信表明書において、大学全体のパフォーマンス向上を実現するためには、「熱意あるいは腹落ちのある」教職員が「結集し群」となることが重要であると強調されています。これを実現するための一層踏み込んだ具体案をお聞かせください。
3. 現在、多くの教員が、人数の削減に対して業務負担が増加すればこれまでの教育・研究の水準を維持することはできないと感じています。業務負担の軽減と適正な人員配置についてのお考えをお聞かせください。
4. 同様に、職員の間でも業務負担の過多や不公平が問題になっており、ここ2年程度、優秀な若手人材の退職が目につくようになりました。このような状況についてどのようにお考えですか。
5. 教職員人事評価における不透明性に対する指摘や、教員採用人事において現場の意見を無視した裁量がなされているという意見が組合に寄せられています。現在の人事評価制度や採用人事のプロセスについてのお考えをお聞かせください。また、今後の改善案をお示しください。
6. 近年、国立大学におけるハラスメントの事例が報道される機会が増えています。本学の組合に対しても教員によるハラスメントについて複数の情報が寄せられており、ハラスメント撲滅は喫緊の課題であると言えます。その実現のための具体的な施策をお聞かせください。
7. 本学の今後のあるべき姿とはどのようなものだとお考えですか。そのビジョンをお聞かせください。
8. 職員組合と法人の今後の関係について、お考えをお聞かせください。

以上

組合へのご意見・ご要望をお聞かせください：職員組合の連絡先：kitu_shikko@googlegroups.com